

社会福祉施設等

ボランティア・コーディネーター研究協議会

「ボランティア・コーディネーターの思いと現実の課題」

開催趣旨

社会福祉施設等におけるボランティア活動は、施設と地域社会をつなぐものであるとともに、利用者の生活の充実や日常の運営を支えるうえで、大きな意味を持っています。

企業の社会貢献活動、学校における取り組み、団塊世代の退職などボランティア活動が注目され、以前にも増して、様々な方がボランティアとして施設等に関わりを持ち始めています。そしてここでは、ボランティアの役割と利用者との関わりを広い視点で考え対応するボランティア・コーディネーターの役割がますます重要となっていると言えるでしょう。

本研究協議会は、ボランティア活動を通じた施設と利用者、ボランティアの良い関係づくりのために、どのようなボランティア・コーディネートが求められるのか、事例報告と意見交換をふまえながら考えたいと思います。

日 時 2008年11月14日（金）10時～17時

会 場 飯田橋セントラルプラザ 12階 他
東京都新宿区神楽河岸1-1

JR・地下鉄（有楽町線、南北線、東西線、大江戸線：出口B2b）飯田橋駅下車



主 催 東京ボランティア・市民活動センター

TEL : 03-3235-1171 FAX : 03-3235-0050 <http://www.tvac.or.jp>

東京ボランティア・市民活動センターは、営利を目的とせず、さまざまな分野のボランティア活動や市民活動、NPOなどの推進・支援を行っています。（運営主体：社会福祉法人東京都社会福祉協議会）

対 象 ①社会福祉施設等のボランティア受入れ担当者
②社会福祉協議会・ボランティアセンター等ボランティア活動推進団体の職員
③その他、施設におけるボランティア活動の推進にかかわる方、関心のある方

定 員 120名

参加費 一名につき 3,000円

◆別紙申込書をFAX・郵送していただくか、またはホームページにてお申込ください。

社会福祉施設等ボランティア・コーディネーター研究協議会 「ボランティア・コーディネーターの思いと現実の課題」

<プログラム>

(オリエンテーション) 10:00~10:10

【講演】「ボランティア・コーディネーターの役割」 10:10~11:10

講師：山崎美貴子（東京ボランティア・市民活動センター所長／神奈川県立保健福祉大学学長）

(分科会会場へ移動、休憩)

【分科会：事例報告と意見交換】「ボランティア受入れの現状と課題」 11:30~15:40
(昼食、休憩 含む)

第1分科会：高齢者施設

事例報告：●● ●● さん（高齢者施設）

第2分科会：障害者施設

事例報告：発表者調整中（社会福祉法人 豊苳会）

第3分科会：母子・児童施設

事例報告：元井 由隆 さん（保育園）

施設におけるボランティア・コーディネートの基本的な流れとポイント、職員・ボランティア・利用者とのよい関係、リスクマネジメントなどについて、考えてみましょう。

【全体会】 16:00~17:00

各分科会報告（各分科会事例報告者）

まとめ：安藤雄太（東京ボランティア・市民活動センター副所長）

■申し込み方法

- ・別紙の参加申込用紙に必要事項を記入の上、ファックスまたは郵便で下記あてにお送り下さい。ホームページからも申込みます。なお、受入れ状況に関する事前調査にご回答下さい。

■申し込み期限

- ・11月7日（金）までに別添申込用紙により下記あてにお申し込み下さい。 ※定員になり次第締切

■申込み・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター（近江、高山、宮田）

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1（飯田橋セントラルプラザ 10 階）

〔電話〕 03-3235-1171 〔ファックス〕 03-3235-0050

〔ホームページ〕 <http://www.tvac.or.jp/>